

# 第57号

# 酪農とちぎ



## 長月

朝夕の過ごし易さが早くも秋の訪れを告げています。今年の夏は梅雨明け後の長雨により日照時間が減少し、農作物に悪影響を及ぼしました。実りの秋となり、稲の収穫が始まりますが、一年の苦勞が報われることを望みます。

全国経営発表会（全国酪農青年女性会議主催）に於いて、本組合員の小針勤さん（那須塩原市）が見事最優秀賞を受賞されました。皆さんと共に祝福させて頂くと共に今後のご活躍をこ期待申し上げます。

先の六月三十日に通常総代会を開催し、来年度からの総会制の導入を含む提出議案全てを可決頂きました。また、乳質共励会の表彰が開かれ、組合表彰・県表彰・連続賞の表彰が行われ、日頃の乳質向上に対する努力を賞しました。

組合は八月一日に誕生から八年を経過致しました。酪農を巻きく環境は合併時から比較すると大きく変化しており、柔軟で敏速な対応が求められています。今後も皆様の御期待に沿えるよう役職員一同努力して参ります。



## 副組合長就任に際して

代表理事副組合長 坂主 正



この度、相馬俊市副組合長の急逝に伴い、その後任として理事の皆様からご推薦を頂き、副組合長に就任致す事になりました。浅学非才の身ではありませんが、組合員はもとより関係各位のご期待に背くことのないよう努力していく覚悟であります。皆様方のご指導ご鞭撻を心よりお願い申し上げます。

酪農とちぎが誕生し八年目を迎え、私も合併当初から理事の一員として組織運営に関わって参りました。副組合長の任を受けるにあたり「自分にその職責を全うできるのか」と自問自答致しましたが、諸先輩方などの声に背中を押され、自らが酪農を始めた頃、乳牛改良同志会で共に汗した菊池組合長の補佐役を再び務める運命を感じつつ、わが四十数年間の酪農人生の集大成を懸ける思いで組織運営に取り組んでみようという意を固めました。

わが組合は、関東生乳販連の中にあつて生乳生産量が最大の酪農協であり、生産基盤の維持強化にむけて関東の合理化計画を進めて

いく立場は、益々重要な役目を担っているものと認識しております。そのような状況の中、このたびの関東生乳販連の役員改選により菊池組合長が関東生乳販連の副会長に選任されました。関東全体の運営に関わる菊池組合長の職責は従前にも増して大なる責任が加わったものと思えます。

それらを勘案するに、私の役目は菊池組合長をあらゆる場面でサポートし、当組合の組織運営が関東全体の調和の中でスムーズに進展するよう地域の皆様との理解を深め、協力が得られるよう努力していくことが重要であると考えています。また、経営スタイルは個々に違つても生命の糧を支える酪農・農業の素晴らしさについて再考を促し、酪農経営者が自分を見失わないよう自信と誇りの持てる経

営環境づくりを進めていくことも重要であると考えております。

乳価値上げにより光明の見えた酪農情勢を長く持続させられるよう、皆様と共に知恵をしばり組織運営に努め、初心を忘れず力を尽くしてまいりますことを結びとし、最後に組合員ならびにご家族皆様のご多幸をご祈念し就任の挨拶とさせていただきます。



しよく  
みんなの  
よい食  
プロジェクト



# 酪農とちぎ第八回通常総代会

飼料高騰に対応、乳価向上・牛乳消費の回復運動



第八回通常総代会が六月三十日、高根沢町民ホールにおいて総代百四十名が出席し開催されました。

定刻に定足数を満たし赤堀専務が開会を宣した後、菊池組合長が「ご存知かと思いますが、副組合長の相馬さんが亡くなりました。お悔やみ申し上げます。振り返ってみると六月に前田前組合長の後を継ぎ、経済危機の中、経営・乳価・国との連携に追われる毎日でした。そんな中、国からの各種対策、飲用乳価の値上がりましたが、成分調整

牛乳が値上の足枷となり、今後加工の発生が増えてしまう懸念もあります。海外も消費

が冷え込んでおり、消費動向による影響を念頭に置き経営をお願いたします。次年度から総会制を導入する予定であります。日本・世界の経済が混乱する中、情報の発信・集約が大切であり、皆様の意見に耳を傾け、積極的に事業を推進して行きたいと考えております。本日の議事についても慎重に審議して頂くことを願って挨拶に代えます。」と述べました。議長団には桃井兼夫氏（那須町）根本壽一氏（都賀町）が選任され、慎重に議事を進行して頂きました。

第一号議案は、執行部より八年度の事業実績について詳細な説明が行われ可決し、第二号議案から第七号議案については、総代会制から総会制にする為の変更、市町村合併に伴う変更、農協法一部改正

に伴う変更が要点ですが、内容を充分理解して頂き可決となりました。第八号議案、第九号議案についても原案通り可決し、特別決議の「みんなのよい食プロジェクト」を決議し閉会となりました。

## 当日の出席状況

定数百九十名  
本人出席百四十名  
書面議決四十一名

## 主な質疑、意見要望事項

- ① 診療事業、牧場事業の  
人件費について
- ② 副組合長職について
- ③ 生乳販売に関する  
組合の役割について
- ④ 役員退任慰労金について
- ⑤ 職員数について



ご意見・ご要望



議長団の桃井兼夫氏（左）  
根本壽一氏（右）



## 支所別説明会を開催

六月上旬より、支所毎に支所別説明会を開催致しました。組合は、総代会制になっておりますので、全組合員に二十一年度事業実績及び平成二十一年度事業計画・第二期中期構想についてご説明し、今後の事業展開に資するため、皆様からのご要望、ご意見を頂くことを念頭に、初年度より開催しております。今年度の支所別説明会は六月十日、十二日に三会場で行われ、乳代精算方式変更、総代会の導入等に対するご意見、ご要望を頂きました。

### 主な質疑ご意見等

#### 那須高原支所

理事と組合の関係について  
役員推薦の方法について



事業推進職員の教育について  
職員採用について  
乳代精算方式の変更について  
創立記念日について

#### 宇都宮支所

牛乳普及協会の活動について  
後継者教育支援について  
乳代精算方式の変更について  
乳代手数料と事業賦課金の違いについて  
「牛乳に相談だ」CMの効果について

検定事業について  
計画生産及び乳価値下げの対応について  
需要拡大拠出金の用途について  
研修会等に出席する職員について

#### 県南支所

検定事業について  
職員給与について  
配合飼料価格低減について  
購買事業利用率について

\*質疑・意見等であった、乳代精算方式の変更について解説致します。

### 乳代精算方式の変更(乳代手数料方式への移行)について

平成二十二年度からの変更に向けて内部検討を進めておりますが、その内容とは乳代手数料による組合運営の形に、明確に変えるという事です。

理由は、手数料方式に変えることで、当初設定した手数料の削減が組合運営コストの削減として理解され、生産者が負担する費用を明示し、組合運営の透明性を図ることにつながるからです。

目的は、運営コストを削減し、手取り乳価(組合から言えば支払乳価)になります。を最大化することに意思統一することです。

現在の乳代精算における支払乳価は、組合が設定した月別基準乳価が基本です。その基準乳価に組合の乳質格差の加減を行って個別の支払乳価を算出しています。生乳販売事業費用の生乳受入高がそれにあたります。

乳代精算方式の変更により、組合が設定する月別基準乳価は廃止となります。それに代わって、関東生乳販連に販売して精

算される乳価を出荷者ごとに再設定し、組合は必要な乳代手数料を控除し、他の控除項目を差し引きし送金する形式となります。

何が違うのかと思われるかも知れませんが、関東生乳販連の販売乳価を出荷者単位に細分化し、生乳需給動向を直接反映した形で販売乳価が設定され、需要期・不需要期における生乳生産や経営対応が求められることとなります。また、手数料といえども必要経費を算出基礎において計算しますが、期中での手数料変更は想定していません。不足が生じないよう設定基準の含みが必要です。最終的には、過分の手数料は事業分量での配当を行うこととなります。が、手数料方式のもとで支払乳価の最大化を進めていけば、その反面で従来の事業利益による剰余金は最小化していくことをあわせてご理解願います。

なお、手数料設定の算出基礎や手数料の金額など、年内までに事前説明会を行なうべく、内部検討で原案を作成し、専門委員会、理事会での協議を踏まえながら修正すべきは修正し、最終決定していく予定です。



# 東西南北

## 那須高原支所

「観葉植物の寄せ植え」研修会



五月二十六日、支所において女性会那須支部（渡辺智子支部長）役員を対象に、観葉植物の寄せ植えについて研修会を開催しました。講師に、あわや生花店の辺見とみえ先生をお招きし、根のほぐし方や植え方のポイントを聞きながら製作し

ました。同じ材料でありながら個々の感性あふれる独創的なものに仕上がりに参加者全員が満足。各役員からは、環境美化にも繋がるので、今後は自宅の花やお店で購入した花を材料に、寄せ植えをしてみたいとの声が多くなりました。

また、今回の研修会を通して、役員間の親睦を深めることもでき、有意義な一日となりました。

### 那須高原ET組合主催講演会

六月十九日、支所において那須高原ET組合（渡辺信一組合長）主催により、全農栃木県本部畜産部の小林誠一郎先生を講師に、「栃木県における黒毛和種子牛販売と交配種雄牛の産肉性について」と題し講演会を開催しました。当日は二十一名の方が熱心に受講され、講演では黒毛和種子牛の全国産地市況をはじめ、矢板家畜市場での取引現状のほか、交配種雄牛の産肉性として、父別・母の父別・種雄牛別交配販売実績について説明して頂きました。特

に、子牛を高値有利販売するためには、裏付けされた枝肉成績と併せて、血統・能力・体型を基礎とした子牛の生産が重要であるとのこと、受講された生産者は、今後の乳肉複合経営をしていく上で、大きな情報収集に繋がったことと思います。

## 宇都宮支所

### バルク乳スクリーニング

#### 検査による良質乳生産の取組

今年度、宇都宮支所管内の三地域酪農組合では、良質乳生産を目的とした年二回のバルク乳スクリーニング検査を行っております。第一回目については、五月〜七月にかけて全地域の検査が終了し、その結果についてご報告致します。

まず第一点目は、伝染性の乳房炎原因菌（SAC）が半数以上の牧場で確認されました。SACは搾乳機器等を介して他に感染するため、個々の特定と防除対策が必要となります。順次対応しております。但し、SAC感染牛であり

つても、ストレスのない良好な飼養環境の下では体細胞数に影響しない傾向が見られました。

第二点目として、予想以上に総生菌数が高い傾向がみられました。生菌数が高い場合、搾乳衛生、搾乳機器洗浄不足、バルククーラー冷却能力不足等が疑われます。その他の原因として、不衛生な牛乳回収スポンジの使用、インラインフィルターの使いまわし、洗剤濃度不足、洗剤溶解温度不足等が判明しました。

今回、自分のバルク乳の状況を改めて検査し予想外の結果に驚いた組合員も多く、今後定期的な検査を実施し、良質乳生産に繋がることを確信しています。また、このような取組が、さらに広まることを期待します。

## 県南支所

### 女性会全芳賀支部視察研修会開催

去る七月三日（金）、女性会芳賀支部（星野茂美支部長）は今年度事業のスタ



トとして視察研修会を開催しました。

視察先は那須塩原市の小針勤牧場で、総勢二八名で伺いました。小針牧場は関東甲信越酪農青年女性会議主催の第三九回酪農発表大会において最優秀賞を受賞（後の全国大会で最優秀賞（農林水産大臣賞）を受賞）しており、全国大会に出場することが決定されていることから視察させてもらうこととなり、当日は勤さんと奥さんの幸子さんに案内して頂きました。成牛一二七頭はフリーストールとフリーバーンを併設した牛舎で飼養しており、育成牛四〇数頭は育成牛舎で、哺乳牛はカウハッチで飼われていました。



また自給飼料にあつてはイタリアンやライ麦、デントコーンを一八、二ヘクタールに作付けされていることにも驚かされ、牧場の広さ、良好な環境整備、飼養管理、自給飼料生産等、それに伴い経産牛一頭当たり一、二〇〇キログラムとの高成績にも驚嘆しました。

小針牧場は今言われていること一つ一つを忠実に着実に実行し、成果を出しているのではないかと実感させられました。小針牧場視察後は那須の素晴らしい景観の見えるホテルの最上階で昼食を取りながら支部員の懇親を深め、研修会を終了しました。



### 自家製発酵TMRに挑戦！ 真岡市高橋牧場

真岡市の高橋平治牧場では、暑熱対策のひとつとして六月中旬になると市販されているTMRにデントコーンサイレージと昨年からは稲ホールクロップサイレージを混合し、これに水を加え、三〜四週間程寝かし発酵させてから給与しています。すると嗜好性が高まり喰い込みが俄然よくなることとです。夏場に、如何に乳牛に与えた飼料をきれいに食ってもらうか、これが乳量だけでなく秋以降の繁殖に繋がって行くものと伺えます。手順は次の通りです。

材料（搾乳牛四十二頭、約二ヶ月分）：ドライミックスエース（市販のTMR）三一〇キログラム×二本、デントコーンサイレージ四九〇キログラム、WCS（飼料イネサイレージ）二五〇キログラム、水三〇〇リットル。

手順①フォークリフトの装着したバケツに水を溜める（三〇〇ℓ・蛇口全開で一〇〇ℓ六分×三計一八分）  
手順②TMRを二本、フォークで床に長方形に均一に敷く。

手順③敷いた後、ローダーでTMRを踏み固める（以降の作業でフォークリフトの下に引つかかる為）。

手順④バケツに溜めておいた水を、TMR全体に均等にかける。

手順⑤WCSをフォークリフトでTMRの上にかける。

手順⑥デントコーンを手順⑤と同じ要領で行う。

手順⑦バケツ付きのフォークリフトで、重ねていた物を混ぜ合わせながら山にする。

手順⑧混ぜ合わせた物を細断型ローラーに入れ、一回の作業で四〜五個出来る。

手順⑨ローラーになった物をラップする。

手順⑩ローラーに日付・水の量をスプレーで書き込む。約三〜四週間置き完成する。

この作業は手間が掛かりますが、暑熱対策には打って付けな方法です。

その他にも様々な対策があると思いますが、一考の価値ありと思いが紹介致します。



# 部課だより

## 生乳販売課

七月度の生乳生産量は、ぐずついた天気が続き乳牛にとつては楽な気候となり、生乳生産量が堅調に推移し、一八、二二二トン（前年比一〇一・五％）で、四ヶ月累計では前年比一〇〇・三％となりました。また、出荷組合員数は五七四戸（前年六〇〇戸）、学校・公共団体四戸（前年五戸）でした。

支所別生乳生産量をみると、那須高原支所においては前年比一〇一・六％、宇都宮支所九八・〇％、県南支所一〇三・六％累計では那須高原支所一〇〇・二％、宇都宮支所九七・〇％、県南支所一〇二・九％の実績となりました。

関東において七月度は前年比一〇〇・三％（アウトインを考慮すると九九・一％）、累計では九九・二％（アウトイン考慮すると九八・〇％）となりました。特定乳製品向けは七・九七％（前年三・七一％）と前年より四・二六％加工率が

大幅に増加し、累計では一・四一％前年より増加しました。飲用牛乳向けは天候も影響したのか前年比九四・〇％（累計九五・九％）、はっ酵乳向けについては前年比一〇一・九％（累計一〇三・五％）となりました。

全国の生乳生産量については前年比一〇〇・一％（累計九九・四％）でした。北海道は一〇一・七％（累計一〇一・八％）でしたが、北海道を除く（都府県）生乳生産量は九八・五％（累計九七・一％）で、全国の飲用牛乳向けは前年比九三・八％（累計九五・三％）となり、飲用需要が低迷しております。

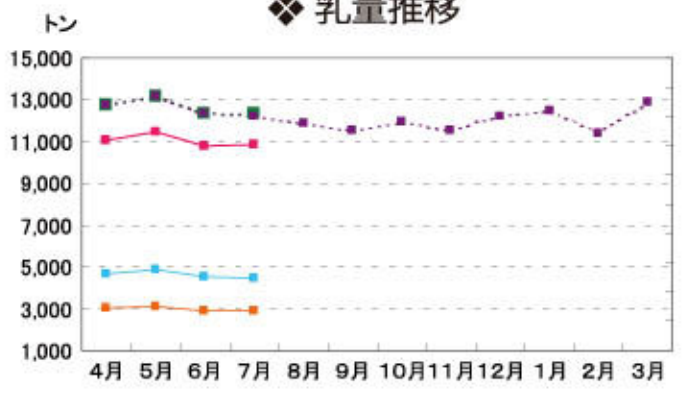
組合における平均乳質成績は、脂肪率が三・七四％、無脂肪固形分率は八・七〇％と前年同様の成績でした。細胞数については二〇・六万（前年二〇・九万）となりました。

牛乳消費の減退と成分調整牛乳の需要増加に伴い、製造過程で生産される生クリームをバターに代わり使用する等の弊害が新たに生まれ、バター在庫量が過去最高の水準にあり、今後も生乳需要の動向を慎重に見極める必要があります。

◆ 脂肪率の推移

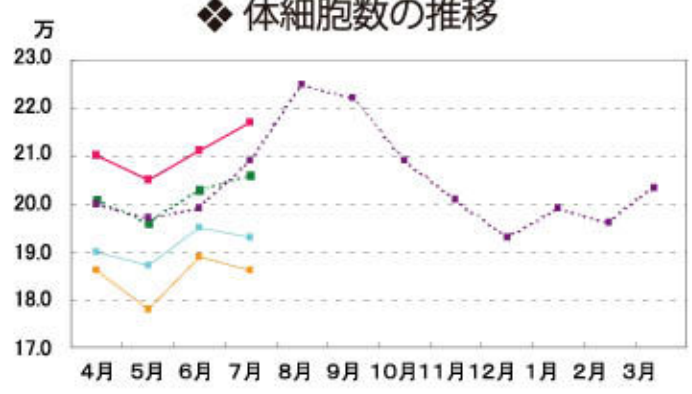


◆ 乳量推移

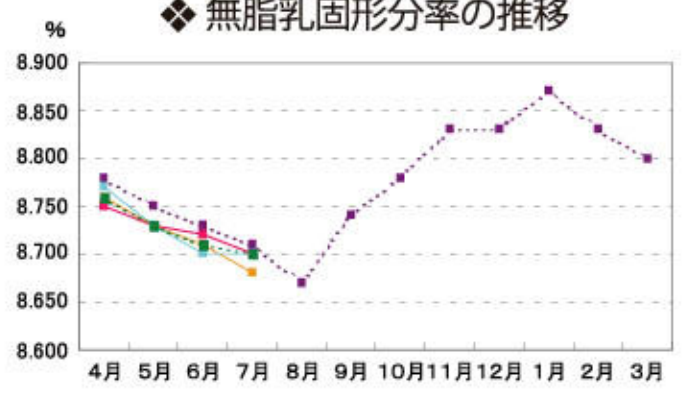


—■— 那須高原 —■— 宇都宮 —■— 県南 —■— 平成21年度 —■— 平成20年度

◆ 体細胞数の推移



◆ 無脂乳固形分率の推移



# 酪農部

## 小針勤氏（那須塩原市）

最優秀賞を受賞

全国酪農青年女性会議主催、第三十九回全国酪農青年女性酪農発表大会が、平成二十一年七月十六、十七日に全国から約六百名の酪農家及び関係者が参加し名古屋東急ホテルにて開催され、全国六プロックからの代表者十二名（経営発表六名、意見体験発表六名）が発表を行いました。

小針氏は『牛舎構造を活かした飼養管理と循環型酪農経営』と題し、フリーストールとフリーバーン牛舎を対面式にした牛舎構造を有効に活用し、牛の状態に応じた飼養管理の実践、良質自給飼料及びエコフイードを利用したTMRの給与、戻し堆肥の利用など循環型酪農経営の取り組みについて発表されました。何れの発表者も甲乙つけがたい優秀な内容でありましたが、経営内容において豊富な自給飼料基盤をもとに循環型大規模酪農を確立し、確かな飼養管理技術のもと、高い産乳量と収益性を実現している点が高く評価され、酪農経営発表の部に出場した小針勤氏が

（関東甲信越酪農青年女性会議代表）が、最優秀賞に並びに農林水産大臣賞を受賞されました。

受賞後、「今回、私個人での受賞とはなりませんが、これは家族全員で受賞したものでして受け止めています。今までご指導頂いた方々に感謝致します。」と受賞の喜びを表し、「これからも、地域の若手酪農家の仲間達と共に、より一層成長出来るよう邁進して参ります。」と今後の展望をコメントされました。

関東甲信越酪農青年女性会議代表の最優秀賞受賞は昨年の茨城県に続き二年連続、栃木県では、平成六年（第二十四回）田中和雄さん以来の受賞となりました。



## 8月ホクレン初妊牛市場成績

〔単位：頭、千円（税込）〕

市場名	開催日	成立頭数	平均価格	~400	401~450	451~500	501~550	551以上
南北海道	8月7日	41	451	6	11	22	1	1
豊富	8月20日	253	485	8	39	124	57	25
根室	8月24日	462	509	12	45	159	126	120
釧路	8月25日	194	478	15	51	66	28	34
十勝	8月26日	601	535	8	38	104	227	224
北見	8月27日	242	502	11	32	75	73	51
合計		1,793	509	60	216	550	512	455
前月		1,627	499	50	234	591	493	259
前年同月		1,756	431	463	680	472	90	51

※上記金額にはE T妊牛価格を含みます。

## 家畜市場成績

平成21年8月 〔単位：円（税込）〕

市場名	種別	成立頭数	平均体重	最高	最低	平均
西那須野 30日	ホルス雄	173	61	44,100	630	22,904
	F 1 雄	112	57	181,650	40,950	125,419
	F 1 雌	90	52	106,050	2,210	61,333
館林 27日	ホルス雄	4	90	35,000	1,000	23,750
	F 1 雄	28	89	191,000	90,000	146,286
	F 1 雌	11	87	102,000	42,000	77,727

### 酪農とちぎ女性会

#### 平成二十一年度統一テーマ決定

酪農とちぎ農業協同組合女性会は、先の六月四日開催の総会において二十一年度の統一テーマを協議し、次の内容に決定しました。

平成二十一年

酪農とちぎ女性会統一テーマ

一、我が身を守る

チェックシート

二、強く明るく

前向きに





テーマを昨年同様と決定した経緯は、相次ぐ食品に関わる不祥事・事故により、消費者がより食の安心・安全を強く求めていることから生産履歴の記録は必須であり、生乳を生産する我々がそれらを十分に理解し実行しなければならぬことを浸透する狙いがあります。

また、二十一年四月から乳価の値上げがなされ、飼料価格も一頃と比較すると落ちてきて来ましたが、しかし、それら幾分の改善はあったものの、牛乳の消費低迷が改善しておらず、さらにバター等の乳製品の在庫が増加しており、現在も厳しい酪農情勢が続いており、経営に取組む、この危機を乗り越えて行つて欲しいとの思いで、昨年と同様のテーマで女性会の活動を行つて行くことに決定致しました。

### 青年部ソフトボール大会

七月二十二日、西那須野運動公園において、青年部主催平成二十一年度親善ソフトボール大会が開催され、各支部より十二チーム約百六十名が参加し熱戦を繰り広げました。

当日は降雨により開催が心配されましたが、天候は回復し、薄曇りの中、白熱した試合が展開されました。好プレー・珍プレーが続き、歓声と笑いのなか相互の親睦が図ることが出来ました。

優勝は塩原・西那須野チーム、準優勝は那須Aチームでした。選手と応援の皆様、大変お疲れ様でした。

### 平成21年度 青年部親善ソフトボール大会結果

開催場所：那須塩原市 にしなすの運動公園

ブロック	優勝	準優勝	第3位
Aブロック	塩原・西那須野	那須A	黒磯A
Bブロック	那須B	那須C	芳賀 河内南部 下都賀
Cブロック	黒磯C	大田原	塩谷
Dブロック	黒磯B	那須南	宇河・今市



### 理事会だより

#### 臨時理事会

#### 協議事項

- 一 代表理事副組合長の補欠選任について
- 二 外部団体等の役員改選(補欠選任)について

### 七月度理事会

#### 報告事項

- 一 資金貸付について
- 二 七月分生産者支払乳価について
- 三 夏季手当支給について
- 四 関東生乳販連情報について

#### 協議事項

- 一 六月度及び第一四半期事業実績について

### 八月度理事会

#### 報告事項

- 一 資金貸付について
- 二 八月分生産者支払乳価について
- 三 関東生乳販連情報について

#### 協議事項

- 一 七月度事業実績について
- 二 自給飼料生産受託事業に関わる飼料収穫機械貸付契約及び作業受委託契約の締結について
- 三 送乳車(車台)のリース契約について
- 四 「畜産自給力強化緊急支援事業」の参加について

### お知らせ

#### 農作業受託組織

#### 「酪農とちぎアグリサポート」

始動!

組合は、自給飼料に関わる農作業を組合員から受託し、労力軽減を図ることで経営支援の手を広げようと、受託事業の新たな推進体制づくりに着手しました。なお、事業の推進にあたっては、栃木県の「元気な畜産確立事業」(雇用創出)に関わる三カ年の補助事業)を活用し、去る七月十三日に六名のスタッフを新規雇用致しました。現在、ふれあい牧場内において飼料生産・飼養管理等の技能実習を行っており、農作業全般の受託対応の展開にむけて準備を進めている所です。組合としては担当職員をマネージャーに位置付け、新規のスタッフとチームを組んだ形での農作業受託組織(名称・酪農とちぎアグリサポート)として育成していく計画です。

そこで、お知らせになりませんが、「酪農とちぎアグリサポート」による自給飼料生産等の農作業について、受託条件を検討し外部委託希望者を対象に相談窓口を設置いたします。



す。農作業に関しては、人的派遣が主体となるかと思いますが、お気軽にご相談いただきます。ふれあい牧場内アグリサポート  
TEL 028・676・1439  
(担当 山田・大根田まで)



アグリサポートのスタッフ達  
右より、加藤昌男・柳田正男・野沢一郎  
平石昌宏・兼松裕司・小倉裕貴

那須だいき牛乳を使った商品(メロンパン)が新発売

平成二十一年八月十二日より、栃木・群馬・茨城県内のセブン・イレブン全店にて、当組合の那須だいき牛乳を使った新商品が発売されました。今回の商品はメロンパンです。是非、お近くのセブン・イレブンでお買い求めのうえ、賞味下さい。



### 第7回乳質共励会表彰者名簿

平成21年6月30日

表彰区分	支所名	組合員名	連続賞	組合外賞
最優秀賞	那須高原支所	小針 秀夫	7年連続	県知事賞
	"	小前 宏幸	6年連続	農政部長賞
	県南支所	森 加藤 俊一	4年連続	農政部長賞
	那須高原支所	田代 和み		
	"	人見 栄子		
優秀賞	宇都宮支所	羽田 秀夫	3年連続	
	県南支所	三 柴 秀夫	3年連続	
	那須高原支所	清野 正則		
	"	荒井 美夫		
	宇都宮支所	小口 誠一	2年連続	
	"	手塚 薫		
	宇都宮支所	宇都宮 大 学		
	那須高原支所	横山 武夫		
	宇都宮支所	山本 修		
	県南支所	伊 塚 應信		
	那須高原支所	林 武		
	"	地 菊 勇		
	"	佐藤 栄		
	"	利根 川 昭		
	宇都宮支所	和物 功		
	"	井物 武		
	那須高原支所	北 秀 雄		
	"	深 瀬 一		
	"	大 賀 一		
	"	大 賀 一		
	"	大 賀 一		
	"	大 賀 一		
	"	大 賀 一		
	"	大 賀 一		
	"	大 賀 一		
	"	大 賀 一		
	"	大 賀 一		
	"	大 賀 一		
	宇都宮支所	森 林 豊		

以上、36名の方々が第7回乳質共励会において特に優秀な成績を収められました。  
※敬称略

### 平成二十年度共励会表彰

通常総代会の開会に先立ち、乳質共励会の表彰が開かれ、乳質表彰・県表彰・連続賞の各受賞者に対し、日頃の乳質向上に対する努力を賞しました。



### 追悼

去る六月十八日、相馬俊市副組合長(享年六十八歳)が病により急逝されました。氏は、平成十四年に本組合の副組合長として就任され、酪農の発展に御尽力されました。氏の御功績を偲び、皆様と共にご冥福をお祈り致します。

